



上士幌町

東京

北海道上士幌町のまちづくり

発表内容

～第1期地方創生 人口増、ふるさと創生のキセキ～

～第2期地方創生 SDGs×脱炭素×デジタル～



上士幌町第Ⅰ期地方創生

人口減少の歯止め

地域経済の活性化

東京一極集中の是正

国立社人研人口推計（平成20年）
平成17年国勢調査5229人
令和2年社人研推計4045人
令和2年国勢調査確定値4778人
（平成27年国勢調査4765人・13人増）

■人口増

計42人増

（年度）

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
8人減	34人増	31人増	7人増	22人減

■東京一極集中の是正（首都圏）

計118人増

平成28年	転入46人	転出10人	転入増36人
平成29年	転入57人	転出29人	転入増28人
平成30年	転入49人	転出24人	転入増25人
令和元年	転入54人	転出25人	転入増29人

■社会増

計244人増

（年度）

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
48人増	67人増	75人増	39人増	15人増

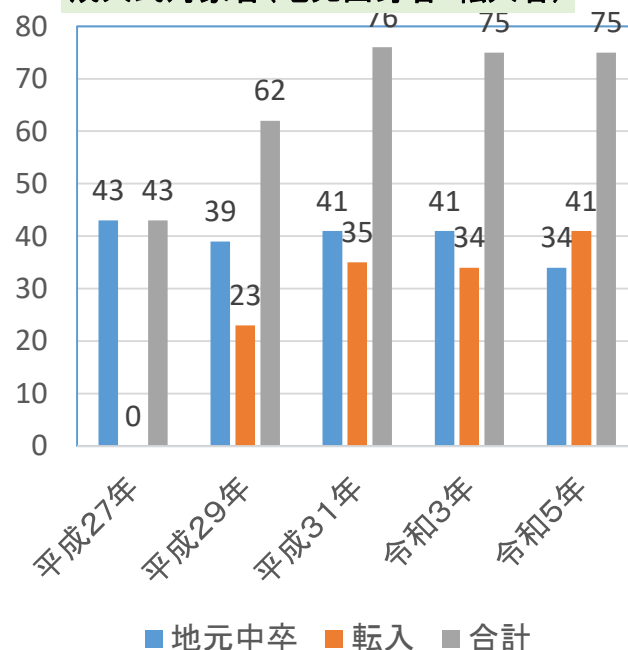
■若者（20～40代）の転入者率

平成28年度	若者203人／全世帯主242人	83.9%
平成29年度	若者200人／全世帯主258人	77.5%
平成30年度	若者212人／全転入者298人	71.1%
令和元年度	若者224人／全転入者305人	73.4%

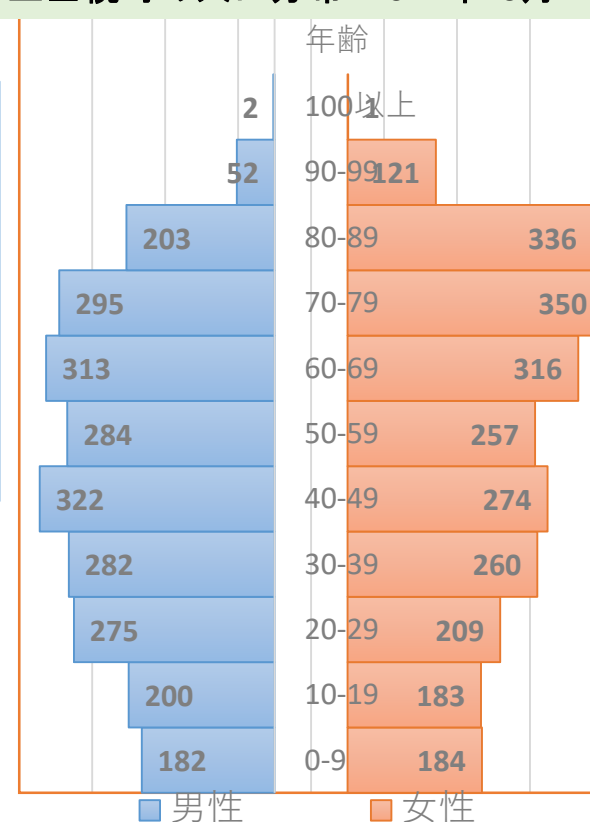
■高齢化率上昇がストップ

平成29年1月	平成30年1月	令和元年1月	令和2年1月	令和3年1月
34.77%	34.39%	34.31%	34.29%	34.35%

成人式対象者（地元出身者・転入者）



上士幌町の人口分布 2022年10月



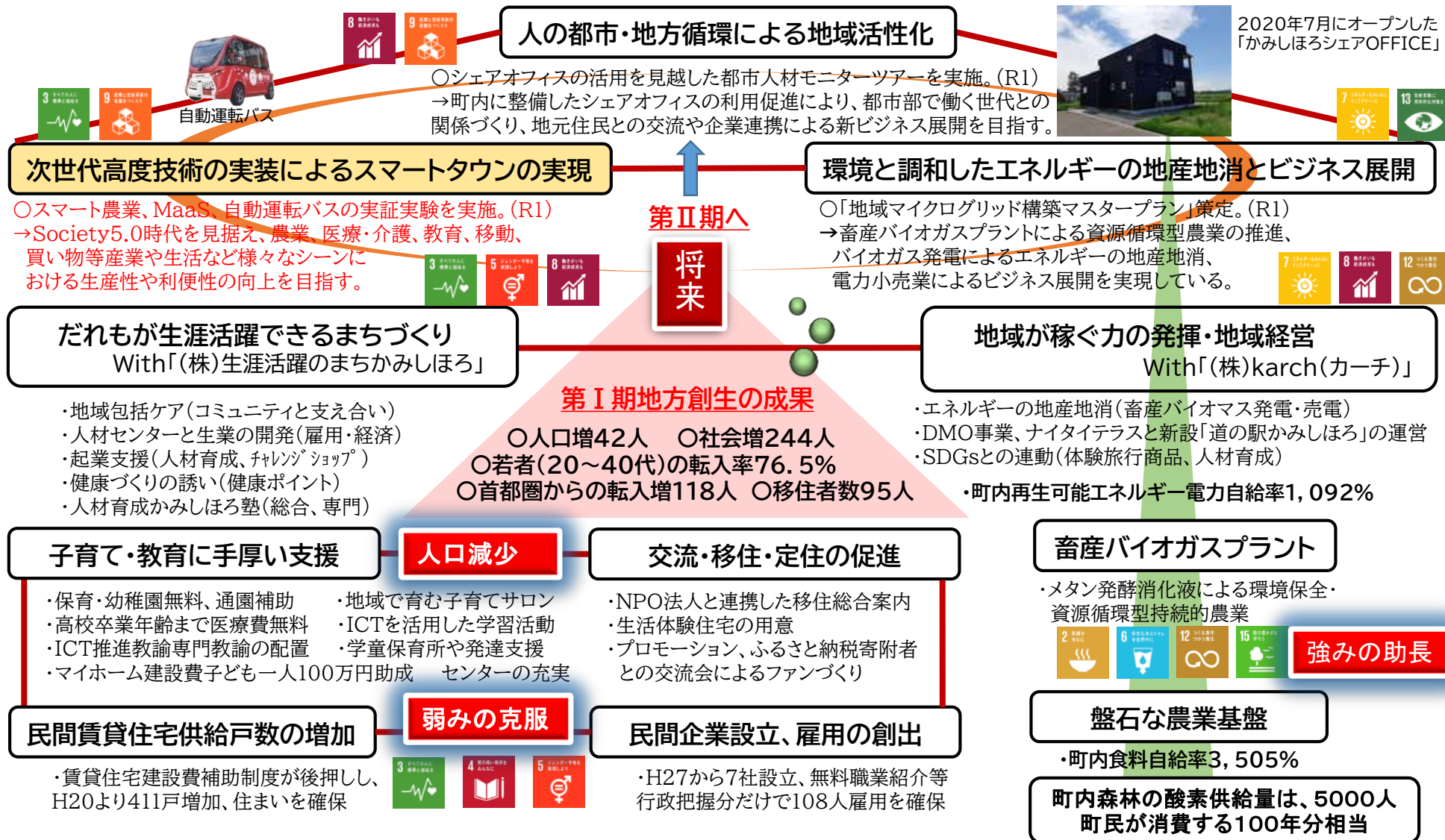
2020（令和2年）国勢調査 65年ぶりに人口が増加

「だれもが生涯活躍・環境と調和したビジネス展開」プロジェクト

～イノベーションでスマートタウンを目指すまち かみしほろ～



- 人の流出に歯止めをかけ、地域を活性化させるため、**住まい、仕事、子育て・教育の手立てを充実**→第Ⅰ期地方創生に成果。
- 畜産バイオガスによる**エネルギー地産地消と売電**、SDGsと連動したDMO事業で、環境と調和したビジネス展開、経済活性化。
- スマートタウンの実現と人の都市・地方循環による交流・ビジネス展開が、「だれもが生涯活躍できるまちづくり」を後押し。





お試し暮らしから始まる関係人口と完全移住

移住・生活体験利用者数

北海道144町村中

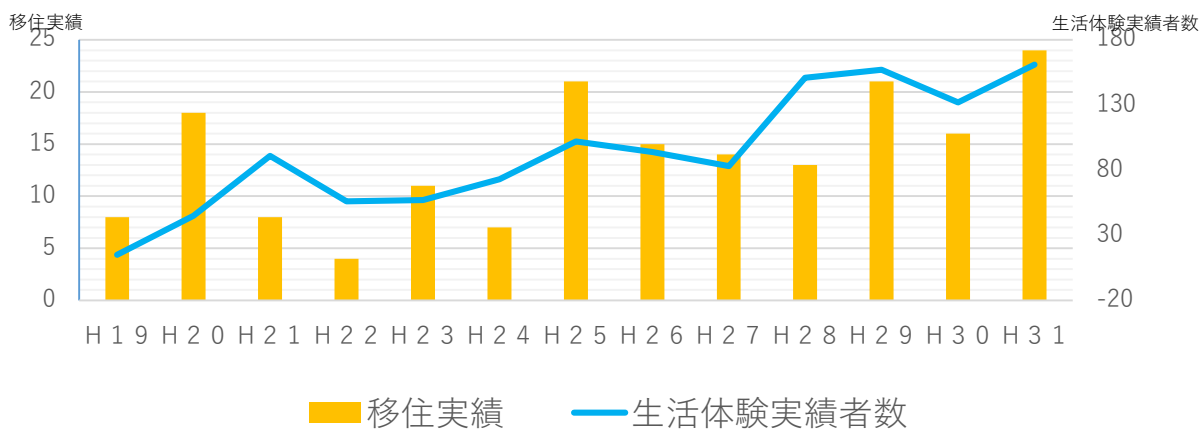
第1位

(令和2年度)

年度	生活体験実績者数	移住実績
～H 1 9	8組15人	11組20人
H 2 0	23組45人	9組19人
H 2 1	38組91人	4組8人
H 2 2	32組56人	3組4人
H 2 3	30組57人	7組12人
H 2 4	23組73名	3組7人
H 2 5	36組102人	10組21人
H 2 6	36組94人	10組17人
H 2 7	42組83人	7組15人
H 2 8	63組151人	9組15人
H 2 9	56組157人	10組22人
H 3 0	56組132人	8組16人
H 3 1 (R 1)	56組161人	11組27人
R 2	33組68人	6組11人
合計	532組1,285人	108組214人

※二地域居住含む

生活体験・移住定住実績



町民と移住者、生活体験中の人が集えるお誕生日会やフリーマーケット等、町民主体の交流を通して、移住後の生活のイメージと安心感を提供

新入りママ 集い安らぐ

移住者自ら 母子支える場



産前産後の親と子に寄り添い、心の支えになっている倉嶋さん（左）

土曜日は、2020年の国勢調査（速報）で前回調査（2015年）と比べ人口が5人増え470人だった。土曜管内では土曜が唯一増加した。世帯の増加も管内トップの3.8世帯。住みやすくなるように、まちの魅力を発信し、新たなことに取り組む人々を紹介する。

土曜への転入者は、子育て中の若い世代が関東、関西、東海地方の大都市圏から移住してくるケースが目立ち、過去5年間の高齢化率は約34%で横ばい。移住してきた人たちは、近々に知り合いが少ないこ

とが多い。特に産前産後の母親は孤立化し、1人で悩みを抱えてしまいがち。10月には施設完成。そういった母親に寄り添

マミー 渡辺雅美さん ママのHOT ステーション 倉嶋香菜子さん

い、安心して出産を迎え育てることができるようにつけてほしいと、助産師として17年の経験を持つ渡辺雅美さん（41）が土曜町内に「産前産後ケア専門マミー助産院」を8月下旬に開院する。

母乳ケアや無料通乳アポイントメント、オンライン、対面、それぞれで相談を受け付け、相談の受け付けや父親と母親が「精進屋」や育児を学べる動画の提供を月間定額制で行う。

渡辺さん自身も昨年4歳男児の母親。昨年2月に岡山県から家族で移住した。一同に町に住み、生活や育児環境なども知っている。

町内には産前産後の親子が集う場がある。また、みほろが昨年開設した「かみしほろママのHOTステーション」だ。毎週金曜午前10時〜午後3時半、会場の保健福祉関連施設「ふれあいセンター」に55人、あまのこで遊んだり、会場の内を歩き回ったり、母親はおしゃべりを楽しみ、子どもが成長する喜びをみんな分かち合っている。

運営の中心となっているのが、20年2月に産後移住し、渡辺さんの友人でもある、同社の倉嶋香菜子さん（43）。ここに来る母親は、世間話や子育て、家庭のちょっとした悩みなどを話しているだけ。それが知り合いの少ない移住してきた人には大切なことと、倉嶋さんは話す。

同ステーション運営、長年町に住んでいる町民も加えてくれ、地域で移住してきた家族をつなげる自も果たしている。同ステーションで、高師の運動教室も開かれ、子どもと母親は自然に高師者と交流するようになる。プラザ内には高師者の笑顔が並び、笑い声が響いている。



上士幌町唯一の助産院開業



ママのHOTステーションに集まった親子。さまざまな形で母子に寄り添う倉嶋さん（前列左から3人目）と渡辺さん（同4人目）

地域全体で育てたい参加者募集

三つ子ちゃんも安心



【上士幌】産前産後の母親を支援する町の事業「ママのHOTステーション」の事務局は11月下旬から、母親向けの勉強会で地域の高齢者が子供の世話をし、見守る取り組みを始めた。新型コロナウイルス禍で孤立しがちな高齢者と子育て世代をつなぎ、交流を深める狙い。高齢ボランティアは「ベビチア」と呼ばれる。現在は約15人が登録。事務局は活動をさらに広げるため、登録する高齢者を募集している。（古谷育世）

上士幌の子供 高齢者が見守り



おばあちゃんもホットするステーション



町事業「ママのHOTステーション」活動拡大



2020第4回ジャパンSDGsアワード

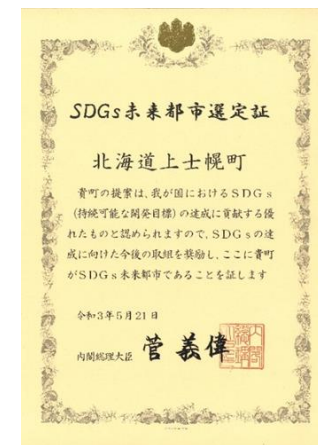
これまでの取組が評価され、SDGs達成に資する優れた取組を行っている企業・団体等を表彰する

「第4回ジャパンSDGsアワード」SDGs推進副本部長賞（内閣官房長官賞）を受賞。

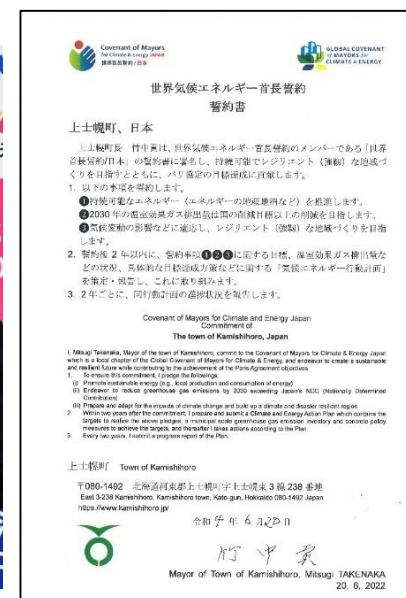
内閣官房長官賞受賞

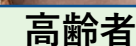
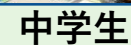
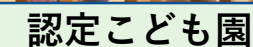
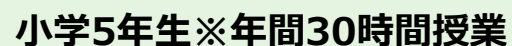


2021SDGs 未来都市選定 & SDGs モデル事業採択



「世界気候エネルギー首長誓約」に署名







第2期 地方創生 SDGs × 脱炭素 × デジタル



人口

4,949人

(令和4年6月現在)

食料自給率
3500%

バイオガス発電
自給率100%

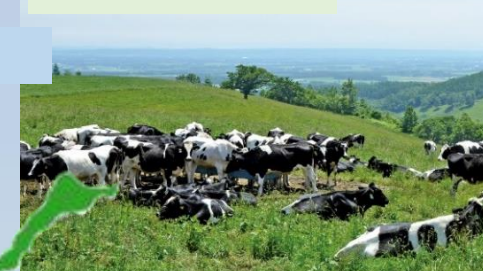
生乳生産量(年)
13万7千t

人口増加

総面積 696.00km²

東京23区の総面積626.7km²

日本一広い公共牧場



バイオガスプラント

北海道

上士幌町

旭川

網走

根室

釧路

帯広

十勝

札幌

苫小牧

函館

東京



大雪山国立公園 北海道遺産



癒しのぬかびら源泉郷温泉



自動運転バス レベル4に向けて



ドローン配送

第1回脱炭素先行地域・2020第4回ジャパンSDGsアワード内閣官房長官賞・2021SDGs 未来都市・2020第8回プラチナ大賞総合的地域賞



未来へつなぐ持続可能なまちづくり～ゼロカーボン上士幌の実現を目指して～

地域脱炭素の 主な取組

地域再生可能エネルギーの地産地消を加速化させ、2030年を待たずに民生部門の電力使用におけるCO2排出量を実質ゼロにする。

◎脱炭素の主な取り組み

- 個人・事業所への太陽光発電設備導入支援
- 防災拠点におけるマイクログリッド化
- EV、次世代技術の導入による省エネ
- ZEH、ZEBの推進・普及

* 民生部門（住宅・公共施設・事業所）需要18,898,077kwh年≦創エネ18,087,080Kwh/年 + 省エネ1,041,382Kwh/年

【対象範囲】上士幌町内全域

【豊富な森林吸収源】

- ・町面積の約76%を森林が占めており、全住民の呼吸から排出されるCO2換算で、約100年分の吸収量を保有（142千t）。



【未利用エネルギー資源の活用検討】

- ・ぬかびら源泉郷における温泉熱や中小水力などの有効活用策を検討。



【バイオマス資源の有効活用】

- ・バイオガスプラントにおける家畜ふん尿適正処理による資源循環。
- ・木質バイオマスや生ごみによるエネルギー資源の活用を検討。



【再エネ・省エネ意識の醸成】

- ・住民の環境に配慮した行動に応じたポイント（地域通貨）を付与する仕組みの構築。
- ・全国自治体向け普及啓発セミナーの実施。



【かみしほろ電力によるエネルギーの地産地消】

- ・バイオガスプラントで発電された電力を域内に供給。
- ・再生可能エネルギー地産地消の仕組みを既に実現。



【再エネ・省エネの推進・マイクログリッド構築】

- ・役場庁舎改修による再エネ設備導入と公共施設省エネ化。
- ・官民協働による大規模太陽光発電の導入。
- ・防災施設等のマイクログリッド構築。
- ・地域への太陽光発電設備導入支援。
- ・ZEH型住宅建設支援。



【公共交通最適化・物流網の再構築】

- ・高齢者等福祉バスデマンド運行による効率化。
- ・将来における自動運転バスの実用化。
- ・ドローン配送の社会実装。



【公用車・公用電動自転車の一体的整備】

- ・公用車のEV・PHEV更新と電動自転車導入。
- ・EVステーションや急速充電設備の設置。



町内全域を対象とした脱炭素化 → 「上士幌モデル」の確立による全国への横展開



第1回「脱炭素先行地域」に選定！【環境省】（2022.4.26）



- ☑ 本町の脱炭素実現に向けた提案内容が評価され、第1回「脱炭素先行地域」に選定。
国の支援（上限50億円）を受けながら、中長期的な視点で脱炭素に向けた取組が可能に。

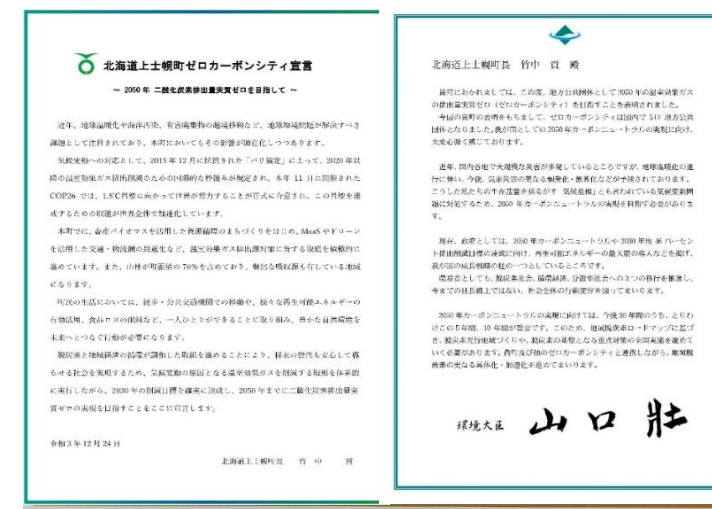
※今回の募集には79地域が応募し、26地域が選定。



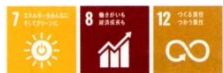
（左から）穂坂環境大臣政務官、務台環境副大臣、山口環境大臣、
竹中町長、大岡環境副大臣、中川環境大臣政務官



上士幌町ゼロカーボンシティ宣言



上士幌町 資源循環型農業で持続可能な農村社会



バイオガスプラントを核に、資源循環型の農業を！

Kamishihoro Sustainable Agriculture

上士幌町の資源循環型農業への取り組み



上士幌町は、
食料自給率 約3,500%
(生産額ベース)
バイオガスプラントでの発電による
エネルギー自給率 約100%
(発電量ベース)
※公共施設・JA施設・畜産農家・一般家庭の消費電力想定



液肥として散布

発電と同時に生成された
消化液は肥料として草地
や畑地に散布します。

残渣物は牛の寝床



家畜ふん尿

資源循環型農業



敷料リサイクル

液肥貯留槽



町内にバイオガスプラントを設置し、
家畜のふん尿からメタンガスを発生さ
せ電気と熱を生み出します。

メタン発酵槽



バイオガス

家畜ふん尿はメタン発酵に
よって消化液となり、
液肥として利用されます

コジェネレータ
(ガスエンジン)

電気ビジネス

かみしほろ電力
Kamishihoro Energy

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう
売

USE ELECTRICITY





持続可能な社会づくり～生物多様性保全と食料安全保障も視野に～

開会式では天皇・皇后両陛下ご臨席のもと、岸田内閣総理大臣を迎え、ドイツ ポツダム気候影響研究所「ハンス・J・シェルンフーバー」所長の基調講演が行われた。2日間わたる会議では、脱炭素、水、海洋プラスチック、食料安保など4つのセッションで行われ、**上士幌町からは第3セッション「持続可能な社会づくり～生物多様性保全と食料安全保障も視野に～」について発表した。**



持続可能なまち スマートタウンを目指して

新スマート物流 SkyHubの仕組み



スマート農業



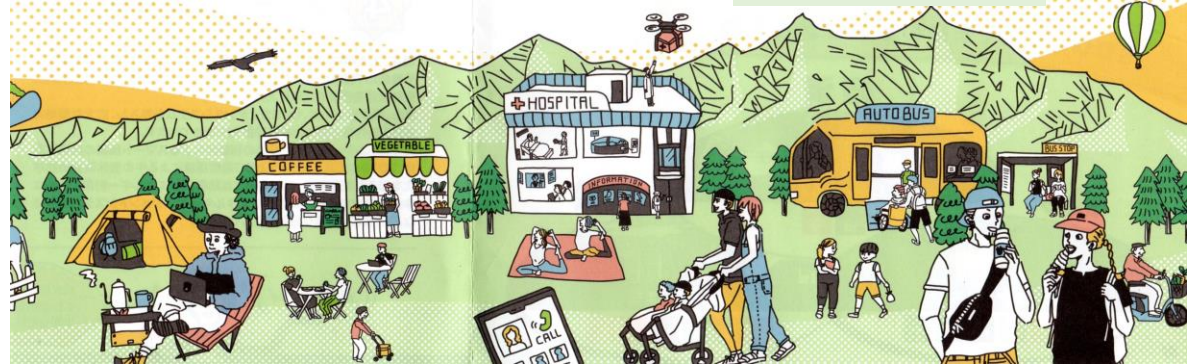
世界初！空飛ぶ受精卵配送事業 (World's first! Egg delivery business)



タブレットによるオンデマンド予約 実用化 (On-demand booking using tablet practical application)



レベル4向け自動運転実証実験 22年10月～ (Level 4 autonomous driving proof experiment starting Oct 2022)



Society 5.0 (ソサエティ5.0)

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



11 住み続けられるまちづくりを

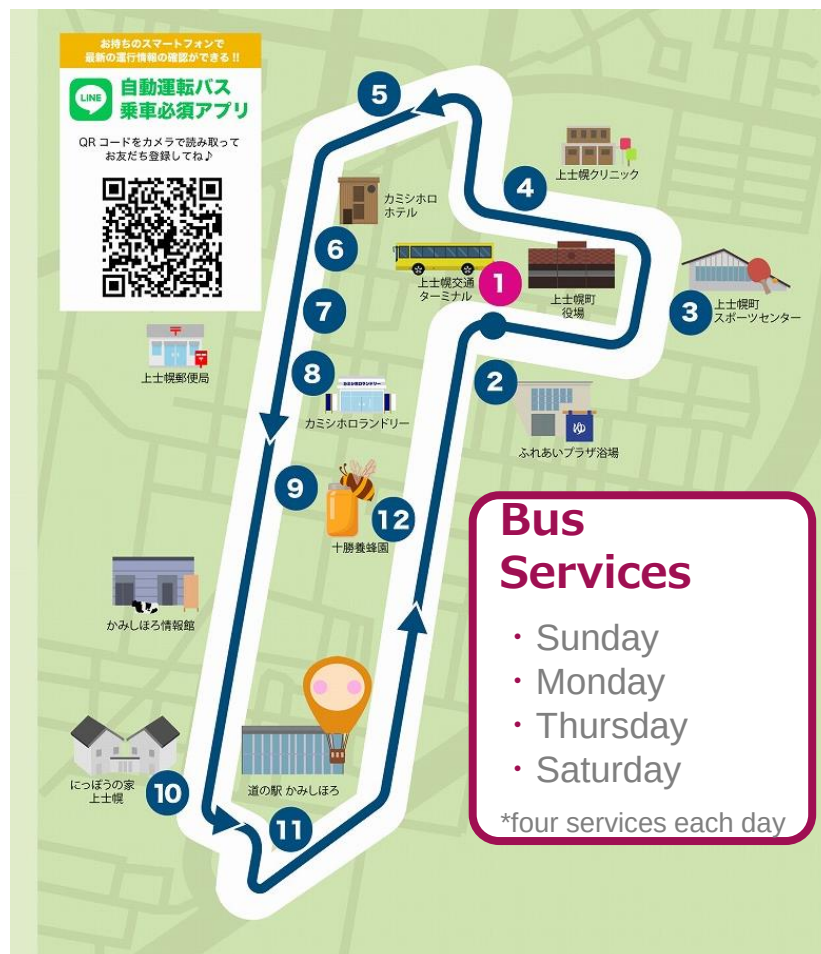


デジタル化 省エネ イノベーションのまち

Autonomous mobility

自動運転を活用した地域の足の確保

【2022.12~】 2017年から複数回の実証実験を経て、
自動運転バスの定期運行開始





【2020.9~】

「定時定路線運行」から 「デマンド運行（事前予約制）」に転換

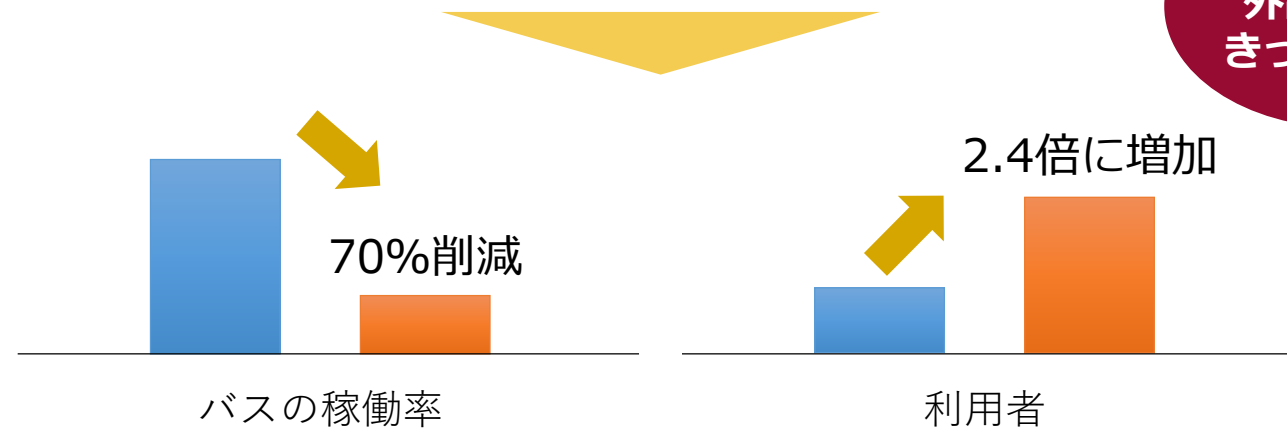


運行日・時間を増設
自宅前まで送迎



高齢者でも使いやすい
簡単なUI設計

高齢者の
外出機会の
きっかけにも



ドローンを活用した配送実証



- ・ドローンを活用した省人化と脱炭素化による地域内物流の最適化

Drone

ドローンを活用した
地域内物流の最適化



リモートワーク・ワーケーションの拠点施設オープン



無地ハウスの設計
博報堂グループスパイスボックス指定管理



ご清聴ありがとうございました



ふるさと創生

北海道 上士幌町のキセキ

黒井克行 Katsuyuki Kuroi

ふるさと創生

北海道 上士幌町のキセキ

田舎の進化」というタイトルで韓国でも出版された。
2021年8月



5年前には消滅可能性都市の
1つだったはずが……
我々の予想を大きく“裏切ってくれた”

人口5,000人の過疎の町が蘇った実話。理屈や前例にとらわれず官民協働で果敢に挑んだ結果、出生率向上、高齢化率低下、一人当たりの平均所得も伸びするなど実績をあげている。国が目指す地方創生に一石を投じた例だ。

——増田寛也(元総務大臣、前岩手県知事)

木楽舎
KIRAKUSHA

黒井克行
Katsuyuki Kuroi

木楽舎
KIRAKUSHA

人口5,000人の過疎の町から、「地方創生」のフロントランナーとしてひた走るまでに蘇った奇跡の町、北海道・上士幌町。20億を超える「ふるさと納税」の寄付先として選ばれ、先駆的な政策を次々と打ち出し実行に移す竹中貢町長をはじめ、関係者への取材で明らかになった、持続的な発展を可能にする町づくりに迫る!